

すぐーる配信

保護者様

千葉市立稲毛第二小学校
校長 佐藤 素子

令和5年度 学校評価について

師走の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。集計結果ならびに自由記述欄にいただいたご意見に関しまして、次年度の方向性を踏まえてご報告をさせていただきます。

1 結果概要と考察

【調査対象と回答数】 保護者 350 児童 614 教職員 40

【各項目の4段階の平均値】 4:よくできている 3:おおむねできている 2:あまりできていない 1:改善を要する

	評価項目	保護者			児童			教職員		
		R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
1	学校は、子供たちが気持ちのよい挨拶や返事ができるよう自ら実践し、指導している。	3.18	3.20	3.30	3.21	3.45	3.27	3.38	3.47	3.33
2	学校は、人権に配慮して、子供に思いやりの気持ちや相手を許す心、規範意識を育てている。	3.11	3.15	3.21	3.23	3.41	3.42	3.40	3.47	3.39
3	学校は、学習への関心・意欲を高め、望ましい学習習慣を身に付けられるように指導している。	3.03	3.09	3.20	3.08	3.30	3.21	3.48	3.42	3.39
4	学校は、学習内容が分かりやすく、楽しく授業を行っている。	3.16	3.16	3.32	3.21	3.49	3.46	3.53	3.33	3.30
5	学校は、休み時間によく遊んだり、運動したりするよう指導している。	3.19	3.16	3.20	3.01	3.22	3.16	3.35	3.36	2.97
6	学校は、最後までねばり強くやりぬき、失敗を恐れずに乗り越えられるような支援をしている。	2.99	2.96	3.05	3.25	3.42	3.35	3.30	3.25	3.27
7	学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすく、それらに適切に対応している。	3.13	3.22	3.16	3.00	3.17	3.14	3.58	3.64	3.39
8	学校は、明るく清潔で、感染症などの対応にも配慮した環境づくりに努めている。	3.03	3.14	3.24	3.20	3.37	3.31	3.48	3.42	3.36
9	学校は、子供たちが校内や校庭で安全に過ごせる環境を整備している。	3.22	3.26	3.28	3.36	3.57	3.51	3.63	3.47	3.39
10	学校は、地域や学校の特色を生かした教育活動を行っている。	3.17	3.20	3.12	3.27	3.45	3.40	3.38	3.08	2.88
11	学校は、学校だより・学年だより・すぐーる等を通し、学校での取組や様子を分かりやすく伝えている。	3.30	3.40	3.28	3.23	3.45	3.41	3.73	3.64	3.42
12	学校は、保護者や地域の人などが、積極的に教育活動に関われるよう工夫している。	3.00	3.14	3.03				3.23	3.11	2.85

【考察】

中央値が2.5ポイントであることを踏まえ、保護者の回答では、3.0ポイント以上が多く、全体的に概ね達成できていると肯定的評価をいただいている。昨年度と比較して数値が増加した項目は設問5「休み時間によく遊び運動する」、設問6「粘り強く最後までやり抜く」の2項目である。しかしながら、昨年度より数値が減少した項目が多く、特に設問8「明るく清潔で感染症にも配慮した環境づくり」、設問11「学校での取組や様子を分かりやすく伝えている」については、-0.11ポイントの減少となった。また、唯一3.0ポイントを下回った項目は設問6であった。児童が粘り強く最後までやり抜くことができるよう、各自の目標に向けて継続的に活動を行い、達成感や成就感を味わう経験を積み重ねていきたい。

児童の回答では、昨年度と比較し全ての項目でポイントが減少している。特に、設問4「授業中はしっかり勉強し、学習内容が身に付いている。(児童向けの質問)」では、-0.28ポイントの減少となった。学習面において、「できた」「わかった」と児童一人一人が充実感や満足感を得られるようにし、自信をもって学習へ取り組めるようこれからも授業改善を行っていく必要がある。また、「自分から挨拶をしたり、気持ちのよい返事をしたりしている。(児童向けの質問)」の項目では、-0.24ポイントの減少となった。登下校時や廊下・階段等ですれ違う際には明るい挨拶をしている児童が多いが、「自分から」という点で数値が下がっていると思われる。あいさつ運動などの委員会活動や各学級の係活動などの取組に更に力を入れ、児童が自ら行えるよう取り組んでいきたい。そのためにも、教職員が率先して挨拶や返事をする事で児童の手本となることや、挨拶の大切さを様々な場面で伝えていくことが必要である。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学習活動や学校行事など制限がなくなり全校一斉に活動できることが多くなった。今回のアンケート結果を基に教育課程編成へ生かし、学校教育目標である「心身ともに調和のとれた、たくましい子供の育成」へ向けて一層の努力をしていきたい。

2 自由記述より

様々なご意見をいただき、ありがとうございました。ここでは、複数からいただいたご意見やご要望を中心に、今後の改善・検討の方向性を記させていただきます。

【学習などについて】

「伝達事項が伝わっていない」「学年・学級での同一歩調の希望」「いのちの森を学習で活用」「活動の様子や担任との関わりがわからない」などのご意見がありました。「伝達事項が伝わっていない」については、持ち物などの連絡は学年内で漏れ落ちがないように早めの連絡を心がけることや、具体的に準備する物がわかりやすいように気を付けていきます。「学年・学級での同一歩調の希望」については、大きな差にならないよう毎週学年で学習進度や学習内容、進め方について確認をしています。時には、欠席人数や学級の実態の違いから差が出てしまうこともあります。今後も学年で連携をしながら、学級間格差がないように努めていきます。また、教職員は授業力向上へ向けて校内研修や外部研修を積み重ねています。今後も努力を継続してまいります。「いのちの森を学習で活用」については、各学年に応じて生活科や理科、総合的な学習の時間などで、学習内容と関連する中で活用をしています。また、学校外の地域へ出ての学習も行っております。今回の『国土交通大臣賞受賞』を機に、本校の誇りである貴重な「いのちの森」の活用をより一層計画的・積極的に進めていきます。「学校の活動の様子や担任と児童との関わりがわからない」については、学校はいつでも参観できますので、担任と児童の関わりもご覧いただけたと思います。参観ご希望の場合は、事前にご相談いただければありがたいです。また、関わりや授業の意図が知りたい場合などについても、担任へご連絡いただければ、説明をさせていただきます。

【清掃・休み時間・学年園(畑・花壇)・下校などについて】

「校内・教室等の汚れ」「掃除当番」「花壇等の枯れ草や雑草」などのご意見がありました。校内等の汚れについては、児童の清掃のほか、教職員でも清掃などを行っていますが、時間の制限や校舎の老朽化もあり、時間も人手も足りない状況です。長期休業中などに職員作業の時間を設けて取り組んでおります。児童の掃除当番は学年の実態に応じて、曜日で変更したり1週間続けて行い方を身に付けたりしています。また、休み時間は15分間の業間休みと25分間の掃除を含む昼休みを設定しています。昼は掃除を手際よく終わらせることで、当番の児童も昼休みを過ごすことができるよう余裕をもたせた時間となっています。コロナ禍前は昼休みを終えた後、全員で掃除をしていましたが、下校時間が現在より遅くなり、放課後の時間が短くなります。児童には、放課後の時間を充分確保し、遊びや習い事など個人や家族との時間も大切にしてほしいと考えています。一方、職員は放課後の時間に授業準備や学年学級などの事務処理、諸会議・打合せ、保護者対応等様々な業務を行っております。一定の時間の確保にもご理解をお願いいたします。今後は清掃の仕方や当番についての見直し、職員作業の内容の再検討を行い、きれいな学校環境づくりに努めてまいります。その他、児童や教職員では手が足りない場所などをINA2ボランティアへエントリーしていただき、校内清掃にご協力いただくことも検討しています。「業間休みに全員での遊びを計画してほしい」ということに関しても、休み時間以外にも、学級活動の時間にお楽しみ会や運動を兼ねたゲームを企画するなど、学年学級で様々な工夫を行っています。花壇や畑については、学習での栽培が終了した後は枯れ草等が多い状況です。花壇の整備については栽培委員会や環境委員会などで取り組めるように計画的に進めます。

【登下校・不審者対応などについて】

「下校時の安全面についての声かけ」「校門が誰にでも開けられる状況」「西門(体育館側)からの登下校を希望」「不審者への対応に感謝」などのご意見がありました。「下校時への安全面」についてですが、登下校は基本的には家庭の役割となります。学校では、交通安全や不審者等への「いかのおすし」指導などと併せ、同じ方面の友達となるべくまとまって帰るよう声をかけています。しかしながら、各家庭によって習い事等もありますので、事件・事故などの緊急性がない限り、必ずまとまって帰るものの強制はできない状況です。「校門の未施錠状況」ですが、校門(正門)に鍵を付けての施錠は、遅刻早退児童や来客、業者の搬出入等があるため、運用上難しい状況です。安全上、門にフックをかけたり、昇降口の扉を閉めたりしています。「西門からの登下校を希望」については、今年度からルネ稲毛海岸グランマークス側からの通学路を変更しました。プール側の横断歩道を渡らず、グランマークス側から稲毛海岸保育所までの歩道を歩き、横断歩道を渡るのは保育所前としました。これは、比較的目が届く横断歩道を渡ることが安全であることと、いのちの森側の歩道も狭く危険であることから変更しました。また、PTAでの登校指導の人数減少も考えた場合、より安全な通学路を設定しました。西門からの登下校禁止についても、目が届かないことや安全面を考慮し、西門と南門は普段から施錠をしていますので、登下校は正門からとしています。登下校の際、西門を開放することにつきましては、今後検討させていただきます。その際は、学校側歩道を通るための通学路の変更や新たな横断歩道設置申請などの安全面についての検討も必要であることをもご承知おきください。「不審者への対応」については、教育委員会、警察、青少年サポートセンター、近隣校と連絡連携を図りながら、今後も児童の安全・安心の確保

と情報の提供をしていきます。ご家庭では、万が一不審者に遭遇した場合、必ず警察へ通報し、その後学校にも連絡をしていただきますようお願いいたします。

【児童について】

「休み時間の児童の関わりについて」「授業中にギガタブで遊ぶ児童」「授業中に抜け出す児童」などのご意見をいただきました。学校では、いじめ対策として毎月アンケートや学校生活全体での様子を基に、関係児童への聞き取りやその保護者への報告・相談・助言を行っています。また、児童本人や保護者の方からいじめの訴えがあった際にも同様に、担任だけでなく学年で対応を行っています。「休み時間の児童の関わり」については、教師の目の届かない部分もあることから、友達同士でのトラブルにおいては、本人や周囲の児童からの訴え、保護者からの連絡を基に、事実確認を行い自身の行動を振り返ることができるようにし、反省すべきところを考えさせ、同じことを繰り返さないことや友達に対して心身が傷つくようなことは決してしないよう指導を行い、保護者へ報告をしています。放課後のトラブルに関しても、訴えを基に同様に対応しています。保護者へ連絡をさせていただいた際に、特に加害児童保護者については、念のため相手の保護者の方への連絡の有無を確認させていただいています。「授業中にギガタブで遊ぶ児童」「授業中に抜け出す児童」については、学校は学習を行う場であるため、ほかの児童の授業妨害となる行為は絶対にあってはなりません。全体指導を土台として行ったうえで、その都度、個々に応じて指導や支援を積み重ねていることや、保護者への連絡も行っています。児童の成長は個々によって違うことや、家庭の考え方も様々ありますので、児童に寄り添いながら安定した学校生活を送れるよう支援しています。また、放課後の遊び方や友達との関わりについては学校の目が届きませんので、学校・家庭・地域全体で児童を見守り育てるためにも、お気付きの点や危険な行動等がございましたら、その場で児童にも声をかけていただくと助かります。その後、ご連絡をいただければ、学校全体で再度指導することができ、大変助かります。

【教職員について】

「児童への指導内容」「教職員育成」などのご意見がありました。問題があった際の児童への指導については、場合によっては担任一人に任せるのではなく、学年で対応したり、生徒指導担当や教務主任等も関わったりしながら指導を行っています。指導内容について何か気になる点がありましたら、その都度、担任もしくは学年主任、教務主任、管理職などにご連絡いただくと大変ありがたいです。「教職員育成」については、校内研修、校外研修、若年層研修、初任者研修等の様々な研修があり、教職員は研修を重ねています。教職員一人一人がより向上し続けられるよう、引き続き努力を重ねていきます。

【学級編制等について】

「学級担任の構成や学級編制」「担任を2人制」「学級の人数」などのご意見がありました。学級担任の構成については、その年度における教職員全体の構成や校務分掌(教職員個々に分担される役割)など多角的に考えて学年学級への配置を決定しています。学校教育目標実現のために、児童のよりよい成長を一番大切にしたいという学級担任を決定し配置しています。なお、学級編制に関しましては、来年度へ向けて現在検討をしていますので、決定後に保護者の皆様へお知らせいたします。「担任を2人制」「学級の人数」については、『公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律』により、一学級の人数と学級数に伴う教職員の配置人数が定められており、学校では法に則った学級編制を行っています。児童の増減により、学級編制を急遽行う必要があるのもそのためです。また、教職員の定数も定められているため、学校ごとに柔軟に教員の配置を決めることができないことをご理解ください。

【学校だより・学年だより・すぐーる・電話連絡について】

「学校だより・学年だよりのすぐーる配信が不便」「紙面での配付がないことで親子の会話が減った」「学校の電話が18時以降つながらないのは不便」などのご意見がありました。昨年度の学校評価アンケートにおいて、学校だよりや学年だよりなどをすぐーるで配信してほしいと多数のご意見がありましたので、準備期間を経て今年度の11月号よりすぐーるでの配信に変更しました。変更に伴い、紙面を希望の方は担任へ連絡をいただくようお願いしてありました。すぐーるでの確認が不便と感じている方や、ご家庭にプリンターがなくプリントアウトできないなど、紙面をご希望の方は連絡帳などで担任へお知らせください。個別に紙面でお渡しいたしますので、よろしくお願いたします。「学校の電話が18時以降つながらないのは不便」については、教職員の勤務時間は8:00~16:30となっています。18時はすでに時間外勤務でもあることや、千葉市教育委員会より小学校での電話対応は18時までと決まっておりますので、ご理解をお願いいたします。

【その他】

「運動会」「始業前の運動や遊び」「日々の学校生活での感謝の言葉」などのご意見がありました。「運動会」については、リレーなど児童の活躍する場面を増やすことや、延期の方法などがありました。種目数は時間や児童の体力との関係もありますので毎年検討してまいります。実施可否の判断はなるべ

く早めに行いたいところですが、天気予報や実際の空の様子等を確認したり、同日に開催予定の学校と連絡を取り合い情報共有したりしながら実施可否の判断をしています。判断が難しく、結果的に延期したほうがよかったという場合もありますが、逆の場合もあります。児童と保護者にとって最善な状況になることを第一に考えて行っていますのでご理解をお願いいたします。「始業前の運動や遊び」については、教職員の勤務時間外となることや、教職員がいない時間帯での事件・事故の際、対応に時間がかかってしまうことなどから、始業前の運動や遊びは行っておりません。ただし、6年生の特設運動部活動(陸上・球技)は大会へ向けた活動となるため、保護者から同意書をいただき、一定期間の中で教職員が特別に実施しています。特設運動部活動においても、コロナ禍前は朝練習を中心に行ってききましたが、児童・家庭の負担軽減や教職員の勤務時間是正なども含め、千葉市の部活動指針に基づき、放課後練習中心へと移行しています。「感謝の言葉」については、「友達とのトラブルの際、担任の先生がすぐに対応して、仲直りするように努めてくれた」「毎日元気に学校へ通いうれしく思う」「日々の会話から、担任の先生が児童の気持ちに寄り添って指導してくれているのがわかる」などの励ましの言葉をいただきました。心より感謝申し上げます。

令和5年度学校評価アンケートにおいて、評価だけでなく様々なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を基に、学校として児童が主体的に学習へ向かい生き生きと学校生活が送れるよう、来年度の教育課程編成(学習や行事などの計画)に役立てるとともに、教職員の指導力向上を目指し、本校教育目標「心身ともに調和のとれた たくましい子供の育成」の実現に向け、全教職員で教育活動に取り組んでまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくをお願いいたします。

